

世界糖尿病デー記念講演会2019 in 大分

知っちゃおかえ？

糖尿病と心不全の深い関係

* 無料血糖測定あります
(11時～13時)

入場無料

日時: 11月17日(日)

13時～15時30分(当日受付可能)

会場: J:COMホルトホール大分 大ホール

講演1 「糖尿病と心不全の深い関係
～今日から始める心不全対策～」

演者: 手嶋 泰之(大分大学医学部循環器内科・臨床検査診断学 講師)

アトラクション

チアリーディング NBU チアリーディングクラブBRAVES Jr

講演2 「知って得する薬の話

～糖尿病薬、きちんと飲んでますか?～」

演者: 伊東 弘樹(大分大学医学部附属病院薬剤部 教授・薬剤部長)

お問い合わせ先: 大分県医師会地域保健課 TEL: 097(532)9121

世界糖尿病デー関連イベントのご案内

[11月17日] 日南市、大分市日岡
[11月23日] 宇佐市

大分県糖尿病療養指導士による血糖自己測定、栄養相談、おおいた糖尿病相談医による健康相談あります

- ブルーライトアップ 11月14日 別府タワー
- ブルーサークル点灯 11月 9日～17日 府内城飯想天守閣

大分県糖尿病対策推進会議

11月14日は世界糖尿病デー



大分大学医学部看護学科
実践看護学講座 教授 濱口和之
大分県糖尿病臨床研究会 会長
大分県糖尿病療養指導士認定委員会 会長
大分県糖尿病対策推進委員会 副会長

世界糖尿病デー！ 全国糖尿病週間

糖尿病は世界的に蔓延し、人々の健康を害する脅威として、2006年に国連宣言が採択されました。11月14日は「世界糖尿病デー」と定められ、11月の第2週は「全国糖尿病週間」となっています。県内でも糖尿病撲滅に向けたイベントが各地で繰り広げられます。大分市では記念講演会が開催され、府内城飯想天守にブルーサークルが点灯されます。県内各地の公共施設や広場でも糖尿病療養指導士による無料血糖測定や医療相談が実施されます。

糖尿病の状況と合併症

人口の高齢化、肥満者の増加を背景に糖尿病の患者数は増加を続けています。高血糖が長く続くと、糖尿病の三大合併症と呼ばれる神経障害、網膜症、腎症へと進行し、さらに生命を脅かす心筋梗塞、脳梗塞にも繋がりがかねません。また、高齢期には要介護状態の一步手前の虚弱状態(フレイル)にもなりやすくなります。現在、糖尿病性腎症から透析になる人を作ることができる人が少なくしようとする取り組みが全国で始まっています。なるべく早い段階から適切に対処することで透析は確実に避けることができます。

検査の必要性

糖尿病の患者さんの多くを占める2型糖尿病は初期には全く自覚症状がないため、健診などで血糖値やHbA1cの検査をしなければ糖尿病になっていくかどうか分かりません。壮年期以降はどなたも一年に一度は検査を受けるようにしましょう。特に、体重増加、高血圧があり、メタボを伴っている方は要注意です。軽度の血糖値の上昇でもきちんとフォローしなければなりません。多忙のため健診結果を放置することがないように職場など周囲の協力と理解が必要です。

治療法の進歩

AIやIoTが発展・進化を続けている現在、連続血糖測定装置や生活習慣の改善に役立つアプリを利用する人が増えています。また、薬剤も進化しています。生活習慣を見直しても高血糖が続くようであれば、早めに薬剤を使うことで進行を防ぐことができます。薬剤の使用は糖尿病の進行防止のための手段と考えてください。

医療機関へのかかり方

糖尿病の予防・進展防止のため、医療機関の専門スタッフにご相談ください。大分県では診療科にかかわらず、糖尿病のことで気軽に相談できる「おおいた糖尿病相談医」制度を発定させています。食事療法運動療法だけでなく、薬が必要な場合、一人ひとりに応じた助言が受けられます。是非、お近くの医療機関を受診し、糖尿病の予防・進展防止を実現し、健康寿命を延ばしましょう。

積極的に健診を受け、糖尿病を予防し、健康寿命の延伸につなげましょう